



教育研究所の 紹介

～ 教育研究所での生活 ～

発表者：2026年度入所 第80期 1年次研究員

< 2026年度入所 第80期 1年次生 >



佐久市立
中込小学校
諸星 達也



佐久穂町立
佐久穂小学校
伊藤 豊



上田市立
丸子中央小学校
木田 聡史



諏訪市立
上諏訪中学校
依田 恵



千曲市立
戸倉小学校
服部 伸也



飯山市立
飯山小学校
池田 勇作

テーマ1
教師と子ども、
子ども相互の
関係づくり

テーマ2
子どもの学びが
深まる授業づくり

学びや対話を通して、
個人課題を焦点化。

よくあるご質問 

研究所で、何をしてるの？
研究ってどんなことをするの？



〈研修内容〉

研究発表会

1年次生：企画・運営
2年次生：発表

視察

研究先進校への視察

+ α

自ら学ぶ、広がる、繋がる

テーマ研究会

過去の実践の省察
自己課題の設定

講義・対話

特任所員、県教育長、信教会長
…スペシャリストに学ぶ

企画・運営

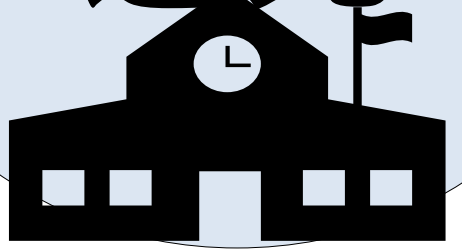
所長セミナー
特任所員セミナー
（自主企画）

読み合わせ会

『信州総合学習の源流』
『「わかり方」の探究』

協力校での 参観・実習

学校や
子どもへ
還元



〈1年間の流れ(テーマ研・講義)〉

研究発表会

(2年次生の発表 全5回)

中間報告会

(9月)

最終報告会

(3月)



所長講義
(全10回)

特任所員講義
(全8回)

その他講義
(会長・部長等)

〈1年間の流れ(視察・読み合わせ会・企画運営等)〉

学校視察 (7～9回)

視察
報告会

読み合わせ会(信州総合学習の源流・「わかり方」の探究など)

4
月

所長セミナー(全2回予定)
特任所員セミナー(各1回)

3
月

信濃教育会行事
講習・講座への参加

「探究的な学び」
研究調査委員会への参加

自主企画

多くの出合いや新たな発見へ

〈研究所 1 日の流れ〉

08:30 始業 ★電車の時間等、柔軟に対応★

09:00 朝礼
朝礼後, 研修スタート

10:00 テーマ研・講義 **豊かな学び
贅沢な時間**

12:00 休憩

12:45 テーマ研・講義午後の部
・研修・研究 ★学びの共有と対話★

16:30 終礼

17:00 終業 ★退勤★

教師が一人を
つぶさに見つめる
そのまなざしが変わるとき,
子どもたちも、
教師自身も変わる



研修内容の紹介

テーマ研究

自己のテーマの明確化(4～9月) → 授業実習での実践や問い直し(10月)
→ 自らの教育観や授業づくりをさらに深める(11月～)

この子は
何を感じ、何を考えて
いたのだろうか？

この時私は
どのような思いで
そこにいたのだろうか？

自分自身の実践の振り返りをもとに省察したことを
レポートとしてまとめ、所長、部長、研究員との対話を
通して、一人ひとりのテーマを深める場

テーマ研究会の様子

- 実践を振り返るレポート作成（自己研修）
- 全員で読み合い議論
- 新たな気づきの獲得と省察の深化



テーマ研を通して問い直してきたこと

- 魅力ある教室、魅力ある学校
- 教師のまなざしと、子ども“と”変わる教師
- 子ども観、学級観、授業観の連関
- 子どもと分かち合いたいもの
- 子どもの願いや思いを広げるかかわり
- 心を寄せたい子と、自分事の深まり

など

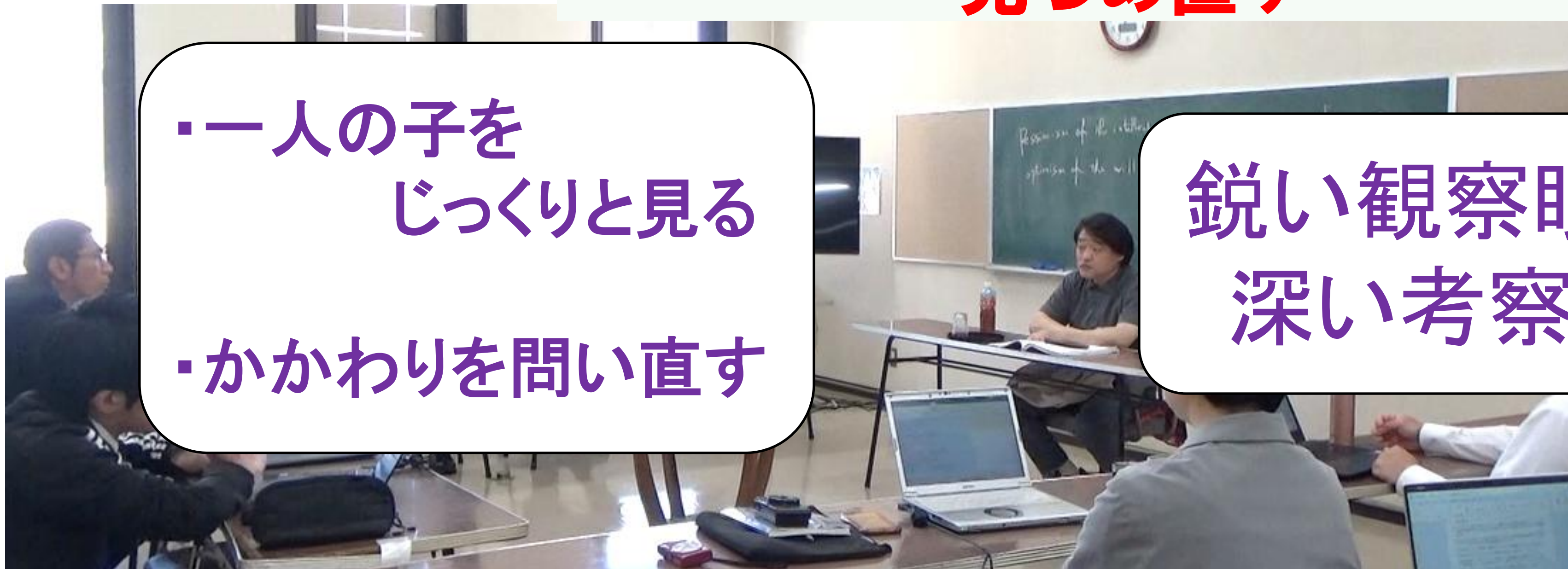
講義・対話

～所長講義～

子どもとわたしが
どうあるべきかを
見つめ直す

- ・一人の子を
じつくりと見る
- ・かかわりを問い直す

鋭い観察眼
深い考察



講義・対話
～特任所員講義～

**教育のスペシャリストから
専門分野を学ぶ**

松木 健一 先生



奈須 正裕 先生



高柳 充利 先生



これからの教育が目指すこと・子どもと生活をしていく私の見方考え方を学ぶ

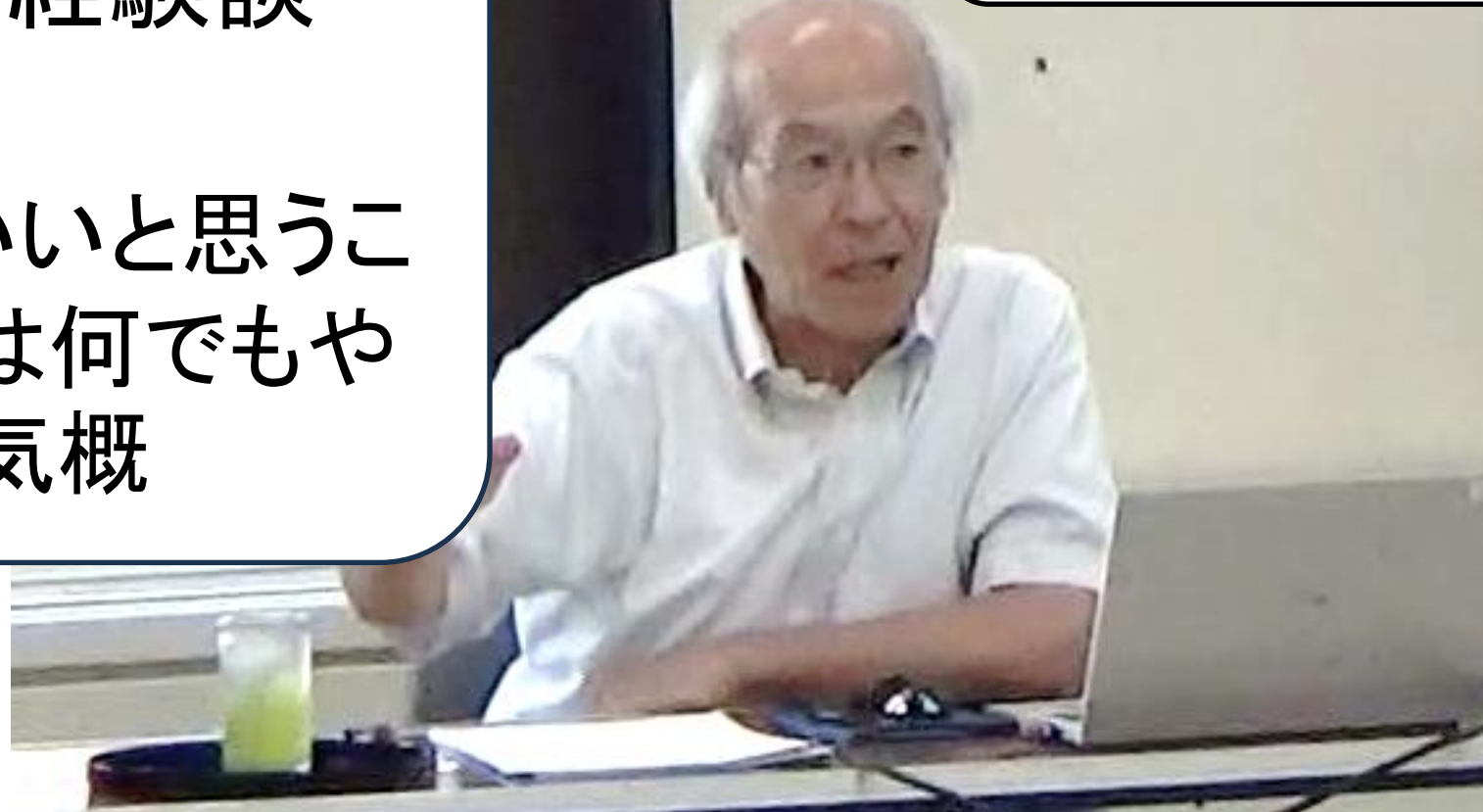
「こうあるべき」の押し付けは子どものためにならない

講義・対話

佐伯前所長、 信教各部長の講義も今後実施

- ・富士山の
経験談

- ・いいと思うこ
とは何でもや
る気概



会長 大日方先生

信州教育の歩み・伝統



県教育長 武田先生

- ・TOCO-TON
の取り組み

- ・これからの
教師が大事
にしていきたいこと

企画・運営

所長・特任所員セミナー

令和8年度 信濃教育会教育研究所

岩川直樹公開セミナー①

<講師>

信濃教育会教育研究所所長

岩川 直樹 先生



5月26日(火) 16時～17時

参加方法：対面（信濃教育会館）・オンライン（Zoom）

テーマ：出会った子どもたちを見つめ直す

～もがき・葛藤・ジレンマを分かち合う～

本研究所所長の岩川直樹先生と共に
子どもたちのことを語り合いませんか？

新年度がスタートして約1か月。これまでの学校生活の中で、目の前の子どもたちの様子も分かってきたでしょうか。そんなタイミングで、もう一度、子どもたちのことを見つめ直し、語り合う時間をともに作りませんか。新たな視点への気づきや明日からの活力になると思います。
皆様のご参加お待ちしております。

信濃教育会教育研究所



松木健一公開セミナー

『学校でなければ学べない“なにか”』

8月5日(水)13時30分～15時30分

参加方法：オンライン(zoom)

多様化する現代社会。AIに聞けば学習はできてしまう今日。
学校にくる意味とは？学校でなければ学べない“なにか”があるはず。
松木健一先生と共に、皆さんで語り合しましょう。

学校に来る意味
あなたは
何て答える？

AI発達と
これからの
教師の役割

多様化する社会
インクルーシブ
教育



講師 松木 健一

元 福井大学副学長
信濃教育会教育研究所特任所員

2年次生との学び

研究発表会

1年次生：企画・運営

2年次生：発表

発表をきっかけに
現場の先生方と学び合う
大切な研修の場です！



- 岩川所長によるご挨拶
- 研究員の発表
- 発表をきっかけとした小グループでの対話

発表者も参加者も日頃の悩みを語り合います！

2年次実践研究

1年次生：2年次生から学ぶ

2年次生：現場に戻っての実践発表

○現場に戻った2年次生が研究テーマの実践を発表。

○所長や特任所員の先生からのご指導と、仲間との意見交換で学びを深める。



研究先進校への視察

○自分で計画して、学びたい先進校へ！
○特任所員の先生方からも、様々な先進校を紹介していただけます。

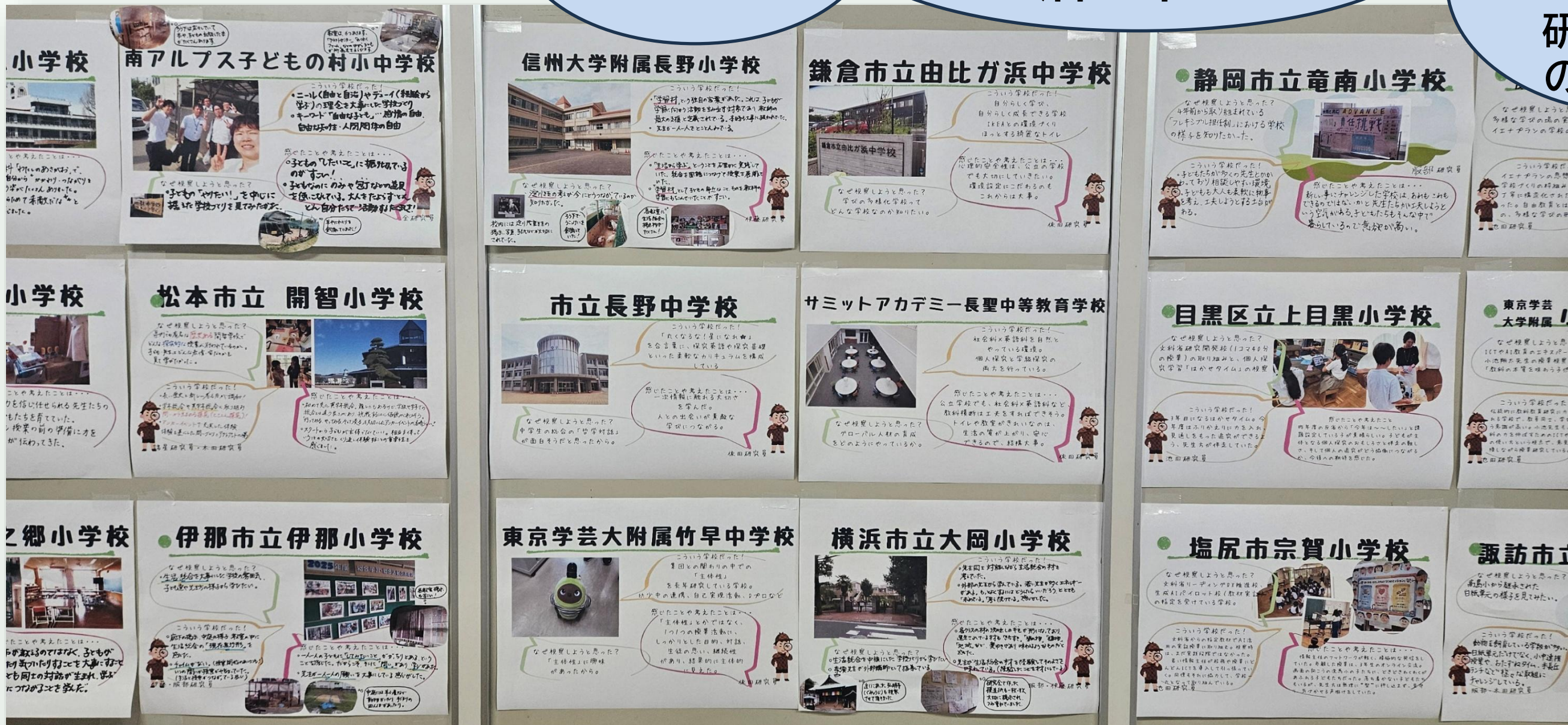
個別最適な学び
と
協働的な学び

探究的な
学び

学びの
多様化

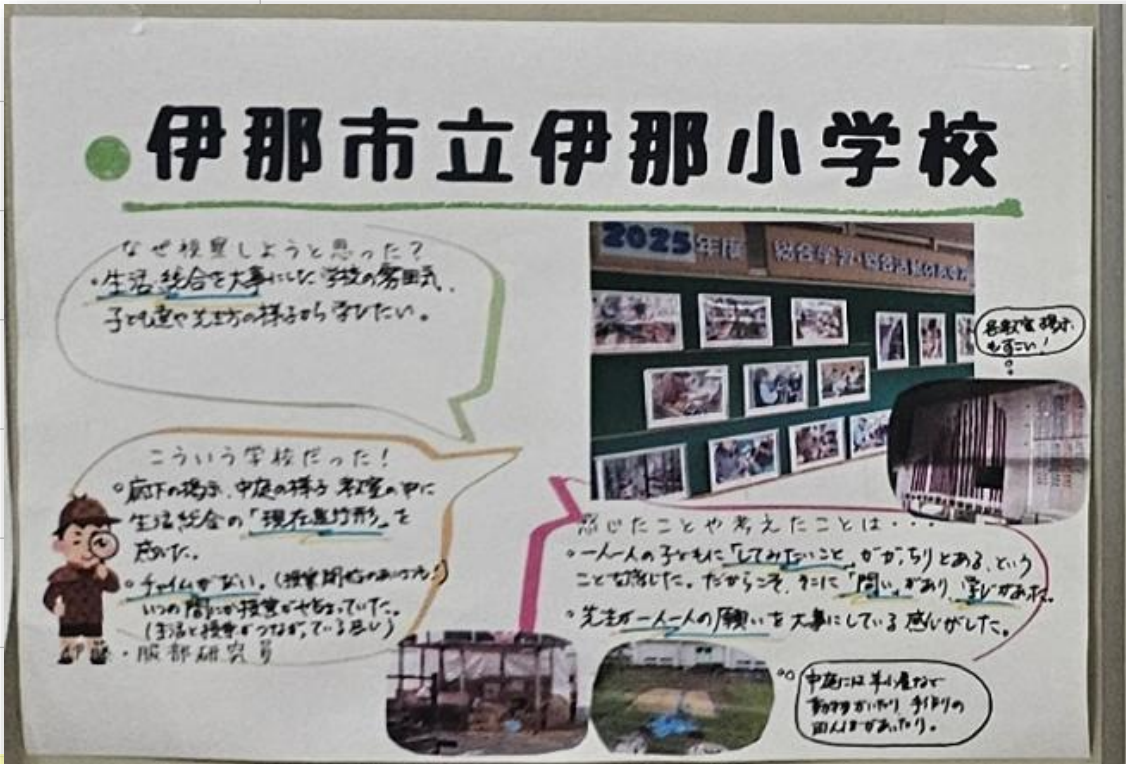
生活科・総合を
生活の中心に

大学附属
小中学校や
文科省
研究指定校
の取り組み



本年度の視察校一覧

長野県内(公立)	県外(公立)	大学附属校	私立校
飯綱町立三水小学校	茅ヶ崎市立浜之郷小学校	信州大学附属長野小学校	南アルプス子どもの村 小中学校(山梨県南アルプス市)
佐久市立佐久平浅間小学校	目黒区立上目黒小学校	東京学芸大学附属竹早小学校	
長野市立長野中学校	鎌倉市立由比ガ浜中学校	東京学芸大学附属竹早中学校	大日向小学校(佐久穂町)
上田市立丸子中学校	横浜市立大岡小学校	東京学芸大学附属小金井小学校	サミットアカデミーセカンダリースクール 長野(長野市)
松本市立開智小学校	静岡市立竜南小学校		
塩尻市立宗賀小学校	戸田市立喜沢小学校		
伊那市立伊那小学校	横浜市立山元小学校		
諏訪市立上諏訪小学校	名古屋市立山吹小学校		
松本市立筑摩小学校			
松本県ヶ丘高等学校			
岡谷市立神明小学校			
信濃町立信濃小中学校			



視察後は得た学びを共有



うう下は広々として
本や、子どもの本が
たくさんあります。



教室は、6つあります。
「クラフトセンター」「おしゃく
り」など、子どもが
好きなところがあります。

南アルプス子どもの村小中学



こういう学校だった！
・ニール（自由と自治）やデューイ（経験
学ぶ）の理念を大事にした学校づくり
・キーワード「自由な子ども」「感情の自由、
自由な知性・人間関係の自由」

感じたことや考えたことは・・・
・子どもの「したい」に振り切っている
のがすごい！
・子どもたちにのみや包丁などの道具
を使いこなしている。大人をサポートする
と自分たちで活動するんだよ！



全研究員

なぜ視察しようと思った？
・子どもの「やりたい！」を中心に
据えた学校バリエーションを見てみたかった。



羊やわたりを
飼育している！



+α

自ら学ぶ、広がる、繋がる

福井大学連合教職大学院

希望者は教職修士取得可能

オンラインでも受講可能

信教での学びをさらにブラッシュアップ

**実践し
省察する
コミュニティ**

～2年間の学びの
流れと仕組み～

福井大学連合教職大学院は、
21世紀の学校教育を担う教員の
専門性を高めるために、
様々な取り組みを通して
学びを深めています。
1年間の活動を紹介します。



福井大学大学院 連合教職開発研究科
福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学（連合教職大学院）



研究所だからこそ
できる学びがある！

仲間と共に 成長できる
それが
教育研究所です。

